

## T8FG/FX-20 ソフトウェアアップデート変更内容 (バージョン 3)

このソフトウェアアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

### スワッシュ設定画面の変更 (ヘリ)

スワッシュ設定画面でサブトリムが設定できるようになりました。

- スワッシュ設定画面の最後のページでサブトリムが設定できます。

スワッシュセッテイ		6/6
サブトリム	ピッチアジャスト	
AIL	+0	ハイ
ELE	+0	ニュートラル
PIT	+0	ロー
	オウフク	10

※ ここで設定したサブトリムの値はリンクージムニューのサブトリムに反映されます。

また、スワッシュ設定画面にピッチアジャスト機能が追加されました。

- ①スワッシュ設定画面の最後のページを開きます。
- ②ピッチアジャストの各ボタンにカーソルを合わせ RTN をタッチすると対応したピッチ出力がされます。

※ ピッチアジャストモード中は現在の出力設定ボタンの左側に \* が表示されます。

※ ピッチアジャスト出力中のボタンにカーソルを合わせて RTN をタッチすると、ピッチアジャストモードが解除されます。

スワッシュセッテイ		6/6
サブトリム	ピッチアジャスト	
AIL	+0	ハイ
ELE	+0	ニュートラル
PIT	+0	ロー
	オウフク	10

(RTN ボタンをタッチ) ↑ ↓

スワッシュセッテイ		6/6
サブトリム	ピッチアジャスト	
AIL	+0	*ハイ
ELE	+0	ニュートラル
PIT	+0	ロー
	オウフク	10

※機能詳細は以下の通りです。

ボタン	機能
ハイ	ハイピッチ固定出力モード
ニュートラル	ニュートラルピッチ固定出力モード
ロー	ローピッチ固定出力モード
オウフク	ピッチ往復動作出力モード

※ "オウフク" ボタンの右側のボタンでピッチ往復動作の動作速度が設定できます。

設定範囲：1 ~ 100

値が大きいと早い動作になり、値が小さいと遅い動作になります。

スワッシュセッテイ		6/6
サブトリム	ピッチアジャスト	
AIL	+0	ハイ
ELE	+0	ニュートラル
PIT	+0	ロー
	*オウフク	15

### 14ch(リニア12/デジタル2)対応(全モデルタイプ)

周波数設定画面の FASST 設定で "MLT2" を選択するとリニア 12 チャンネル出力モードに対応します。

## シュウ入

フリクション GENERAL

FASST MLT2

※ MLT2モードではファンクション/サブトリム/サーボリバース/フェールセーフ/エンドポイント/トレーナー画面で9-12CHの設定ができるようになります。

※ MLT2モードではバーチャルCHは使用できません。

※ トレーナーシステムで12CH使用したい場合は周波数設定を"MLT2"に設定し、トレーナー設定画面の12/8CH設定を"12CH"に設定してください。先生側と生徒側でこの設定が合っていないとトレーナーシステムは正常に動作しません。

※ 周波数設定が"MLT2"の場合でもトレーナー設定画面の12/8CH設定が"8CH"の場合はトレーナー出力は8CHになります。

"MLT2"設定時はウィングタイプで、2AIL+4FLP、4AIL+2FLPが選択可能です。(飛行機/グライダー)

※ 飛行機(全テールタイプ)またはグライダー(エルベータータイプ)でウィングタイプを2AIL+4FLP、4AIL+2FLPに設定している場合、チャンネル数が不足する為、MLT2以外の周波数に変更することはできません。

## 可変ピッチプロペラ機能(飛行機)

VPP(可変ピッチプロペラ)機能に対応しました。

※ 3コンディションまで設定できます。

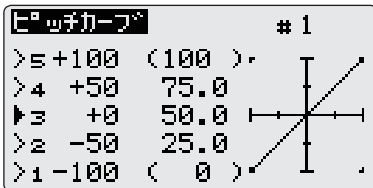
※ スロットルカーブもVPPコンディションに対応して3コンディションまで設定できるようにしました。設定方法はピッチカーブと同様です。

※ ピッチカーブとスロットルカーブの切替SWは共通です。

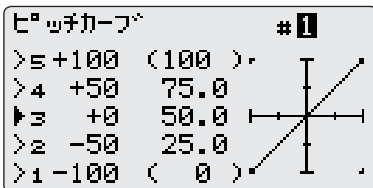
①モデルメニューのピッチカーブ画面を開きます。

※ どのチャンネルにもVPPが割り当てられていないとモデルメニューにピッチカーブが表示されません。

その場合はファンクション画面でいずれかのチャンネルにVPPを割り当ててください。



②画面右上の#ボタンでVPPコンディションを選択します。

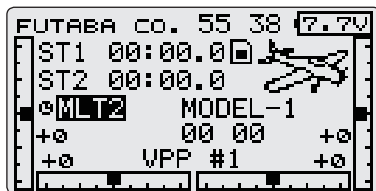


③VPPコンディション2、3の切替SWを設定します。

※ コンディション1→2→3の順に優先順位が高くなります。



※ VPPコンディションはHOME画面でも確認することができます。



## モーター機能、バタフライ機能の変更(グライダー)

モーター機能とバタフライ機能のコントロールがコンディション毎に変えられるようになりました。

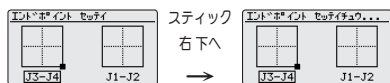
①ファンクション画面でモーターのコントロールのグループ/シングル設定を行います。

※ バタフライも同様です。

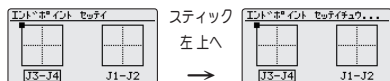
※ "G"=グループ (全コンディション共通)

"S"=シングル (コンディション毎の設定)

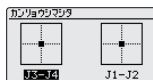
ファンクション	ノーマル	1/4
	CTRL	トリム
1 AIL	J1	T1 レントウウ
2 ELE	J3	T3 レントウウ
3 MOT	SG <input checked="" type="checkbox"/>	--
4 RUD	J4	T4 レントウウ



- ⑤ J3、J4 スティックを左上いっぱいまで倒し、ブザー音がするまで待ちます。



- ⑥ 以上で終了です。スティック補正が正常に行えたか動作確認してください。



## スティックの補正機能 (全モデルタイプ)

J1 ~ J4 スティックの補正が行えるようになりました。

※ J1 ~ J4 出力が正常な場合は補正操作を行わないでください。補正を誤ると安全な飛行ができなくなります。

- ① システムメニュー → H/W セッテイ → キャリブレーションを開きます。



※ 以下、J3、J4 補正について説明しますが J1、J2 補正も同様の手順で行えます。

- ② J3-J4 ボタンにカーソルを合わせて RTN をタッチします。



- ③ J3、J4 スティックをニュートラル位置に合わせて RTN を長押しします。



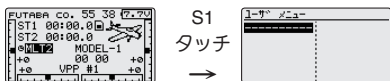
- ④ J3、J4 スティックを右下いっぱいまで倒し、ブザー音がするまで待ちます。

## メニューのカスタマイズ (全モデルタイプ)

よく使う機能だけをユーザがカスタマイズして表示できるユーザーメニューを追加しました。

- ① ホーム画面で S1 をタッチするとユーザーメニューが表示されます。

※ ユーザーメニュー表示中に S1 をタッチすると HOME 画面に戻ります。



- ② "-----" ボタンにカーソルを合わせて RTN をタッチするとメニューセレクト画面が表示されます。



- ③ ユーザーメニューに登録したい設定画面にカーソルを合わせて RTN をタッチするとユーザーメニューに登録されます。



- ④登録した設定画面にカーソルを合わせてRTNをタッチするとその設定画面を開くことができます。



※登録画面をユーザーメニューから削除したい場合、削除する設定画面にカーソルを合わせRTNを長押しします。



※全てのジャイロのレート切替設定が"スイッチ"になっている場合、編集コンディション表示はされません。

- ③編集レート切替ボタンを操作して編集レートを変更できます。

※全てのジャイロのレート切替設定が"COND"になっている場合、編集レート切替ボタンは表示はされません。

- ④ジャイロファンクションボタンを選択すると各ジャイロの詳細設定画面が表示されます。



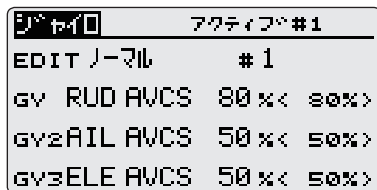
- ⑤ジャイロタイプがGYモードの時はAVCS/NORMモード選択ボタンでAVCSモードを変更することができます。

## ジャイロ設定画面の変更 (ヘリ)

ヘリでジャイロ2/ジャイロ3ファンクションが設定できるようになりました。

※ジャイロ2/ジャイロ3機能を使用する場合はファンクション画面でいずれかのチャンネルにジャイロ2/ジャイロ3を割り当ててください。

- ①ジャイロ画面で各ジャイロのレートを設定できます。



- ②S1をタッチすると編集コンディションを変更することができます。

## ブザー OFF 機能 (全モデルタイプ)

ブザーをOFFする機能が追加されました。

- ①システムメニューのサウンド画面でブザーのON/OFFを設定します。

※"ケイコク"をOFFに設定した場合、無操作警告音(30分)、ミキシングワーニング音、バックアップアラーム音、ローバッテリーアラーム音がOFFになります。



●本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。●本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。●本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明の点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。●お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。